

PRESS RELEASE

2025 年 5 月 23 日

日揮ホールディングス株式会社
合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY

実用化された国産 SAF が中部国際空港セントレアに初供給 －中部地域での「SAF サプライチェーン」が実現－

日揮ホールディングス株式会社（代表取締役会長兼社長 CEO 佐藤 雅之、以下「日揮 HD」）は、日揮グループの SAF（持続可能な航空燃料）製造事業会社である合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY（代表者：高田 岳志、以下「SAFFAIRE SKY ENERGY」）が製造する国産 SAF が本日、中部国際空港セントレアで DHL Express 貨物便に初めて供給されたことをお知らせします。

セントレアにおける国産 SAF の供給は初であり、日本国内の空港では関西国際空港に続いて 2 例目となります。また、貨物機として日本で初めて、国産 SAF を使用した定期航空輸送が開始されたこととなります。



セントレアでの記念セレモニーの様子



来賓挨拶を行う日揮 HD 秋鹿



SAF 概要説明の様子

上記の国産 SAF は、日本の SAF 製造事業者として初めて ISCC CORSIA 認証（持続可能な製品の国際的な認証）を取得した SAFFAIRE SKY ENERGY※¹が、大阪府堺市のコスモ石油堺製油所構内に所有する製造設備で量産した”環境価値”の証明された SAF です。共同事業者であるコスモ石油株式会社（代表取締役社長：西 克司、以下「コスモ石油」）ならびにそのグループ会社であるコスモ石油マーケティング株式会社（代表取締役社長：高山 直樹、以下「コスモ石油マーケティング」）を通じて、DHL Express（CEO：ジョン ピアソン、本社：ドイツ・ボン）に供給を開始する準備を進めてきました※²。

SAF 事業において日揮 HD が一貫して担ってきた役割は、原料の調達から製造、販売、利用に至るまでのサプライチェーンの構築と、それに必要となる機運の醸成です。国産資源である廃食用油を用いて SAF を製造し脱炭素化社会を実現するという、SAF が持つ環境価値の重要性を社会に訴え続けてきました※³。

日揮 HD は中部国際空港と 2024 年 7 月に「廃食用油の収集および SAF 利用促進に関する覚書」を締結し、以降連携して空港近隣の自治体に対して、家庭等から出る廃食用油を SAF に循環させる取り組みを推進して参りました。愛知県内ではこれまでに東浦町、大治町、知多市、弥富市、大府市と資源循環に関する協定を締結※⁴、当社が主導する「Fry to Fly Project」も活用して、市民の皆様が直接参加できるよう、公共施設や学校、保育所などで廃食用油を回収する仕組みを構築するとともに、出前授業等を通じた機運醸成に努めてきました。DHL 貨物便への供給開始により、廃食用油回収から SAF 製造、航空機への供給までを完結する「セントレアを起点とした SAF サプライチェーン」が実現したこととなります。



セントレアを起点とした SAF サプライチェーン概念図

日揮 HD は今後も SAF の利用促進に向けた機運の醸成に努め、国産 SAF のサプライチェーンの安定化を目指して積極的な取り組みを継続してまいります。

<国内初となる SAF 大規模製造事業の概要>

日揮 HD は 2020 年から、コスモ石油、株式会社レポインターナショナル（代表取締役 CEO：越川 哲也、以下「レポインターナショナル」）と共同で SAF のサプライチェーン構築に向けて事業化検討を進め、2021 年に NEDO（国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構）の「国産廃食用油を原料とする SAF 製造サプライチェーンモデルの構築」助成事業に採択^{※5}されました。2022 年 11 月 1 日付で新会社 SAFFAIRE SKY ENERGY を設立、年間約 3 万キロリットルの SAF の供給を目指しています。コスモ石油堺製油所構内の製造設備は 2024 年 12 月に完工し、2025 年度から供給を開始しました。



SAF 製造装置
(コスモ石油堺製油所構内)



SAF の原料となる廃食用油受け入れ施設
(コスモ石油堺製油所構内)

<Fry to Fly Project について>

「Fry to Fly Project」はご家庭や店舗などで発生する廃食用油という国内資源を原料とする SAF で、航空機が飛ぶ世界を実現するプロジェクトです。SAF が本格的に導入されるためには多くの廃食用油が必要となりますが、現在、家庭の廃食用油の多くは廃棄されており、回収された廃食用油についても年間 10 万トン以上が国外に輸出されているといわれています。

設立主旨に賛同する参加企業・自治体・団体が相互に連携しつつ、家庭や店舗などから排出される廃食用油の収集を促進するとともに、自治体との連携により廃食用油の SAF への活用に関する教育活動を実施するなど、日本国内において脱炭素化に向けた資源循環の促進に積極的に参加できる機会の創出を目指しています。開始時 29 の参加メンバーが、現在では 200 を超える企業、自治体などに拡大しています。

※1 2024年12月13日 日揮HD プレスリリース：

<https://www.jgc.com/jp/news/assets/pdf/20241213.pdf>

※2 2025年1月28日 コスモエネルギーホールディングスなどプレスリリース

<https://www.cosmo-energy.co.jp/ja/information/press/2025/250128-01.html>

※3 2025年2月6日 日揮HD プレスリリース：

https://www.jgc.com/jp/news/2025/20250206_01.html

※4 2025年3月21日 日揮HD、知多市などプレスリリース

[cd7f586aebc81b89f7c524b0e6ad00c3_1.pdf](https://www.jgc.com/jp/news/assets/pdf/20250321_cd7f586aebc81b89f7c524b0e6ad00c3_1.pdf)

2025年3月27日 日揮HD、弥富市などプレスリリース

https://www.jgc.com/jp/news/assets/pdf/20250327_21j.pdf

※5 NEDO ウェブサイト：https://www.nedo.go.jp/koubo/FF3_100312.html

以上

お問い合わせ先： 日揮ホールディングス株式会社
戦略企画オフィス 経営企画ユニット 広報グループ
伊達、林（リン）

TEL 045-682-8026

E-mail：mailto:date.masayuki@jgc.com
lin.tsen-yin@jgc.com